

令和6年度第2回理事会（令和6年5月25日）承認

A005982 令和5年度事業報告書

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで

公益社団法人日本グライダークラブ

公益社団法人日本グライダークラブは、内閣府所管のもと、航空の安全の促進と発展を目的として設立された公益社団法人です。その目的と主な事業内容は定款に以下のように示されています。

【目的】第3条 本クラブは青少年を始め、大空に憧れを抱く者に対し、体験搭乗及び操縦・整備技術などの指導・教育を通し、航空知識の普及とこれらの伝承を行うと共に国際交流を行い、グライダースポーツ文化の向上・振興を図り、もって我国グライダー界の発展に資することを目的とする。

【事業】第4条 本クラブは前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) グライダーの啓蒙・啓発・普及に関する事業
- (2) グライダー及び曳航機の操縦技術の向上、及びその指導者の養成
- (3) グライダーの操縦技術、整備技術等、及び安全運航・事故防止対策に関する研究並びにその施策
- (4) グライダー及び関係する装備・計器などの設計・制作・整備・修理・改造
- (5) この事業に必要な機材、施設、設備などの整備、及び人材の養成
- (6) その他本クラブの目的を達成するために必要な事業

当クラブでは定款に掲げる理念のもと、令和5年度事業計画に基づき、令和5年4月～令和6年3月期は下記の通り公益事業をはじめとした様々な活動を実施しました。令和6年度も引き続き公益事業を積極的に推進する所存ですので、クラブの活動と運営に皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します

A. 公益目的事業 1 (公1) グライダーの操縦・整備技術の研究・伝承と指導者の養成

A-I. グライダー普及のための体験搭乗会

期間：令和5年4月～令和6年3月の各週末・祭日

主催：公益社団法人 日本グライダークラブ

参加人数計：75名

A-I-1. 体験搭乗案内をクラブのホームページにて募集 (随時)

参加人数：45名

A-I-2. 地元板倉町のふるさと納税の返礼品として、グライダー体験搭乗の実施 (随時)

参加人数：5名

A-I-3. 会員・賛助会員・家族・友人搭乗会(毎月第3日曜日)

参加人数：25名

複座機利用練習生が増えていることから会員の搭乗機会とのバランスを保ちながら実施した。



A-II. 安全なグライダーおよびモーターグライダー操縦士の育成

A-II-1. パイロットの養成（技能証明取得のための訓練）

期間：令和5年4月～令和6年3月の各週末、祭日、および週日

参加人数：グライダー練習生11名、グライダーライセンスリフレッシュ訓練5名、モーターグライダー練習生5名、モーターグライダーライセンスリフレッシュ訓練3名

概要：滑空機（上級・動力）技能証明取得、技能証明保持者のリフレッシュのための学科および操縦技術について、座学および飛行訓練を実施した。

A-II-2. 指定航空従事者養成施設板倉訓練所の維持管理

期間：令和5年4月～令和6年3月の各週末、祭日、および週日

参加人数：

概要：指定航空従事者養成施設 教育規定で定められている教育施設の維持管理、学科教官5名、実技教官4名の技能確認を実施し、（公社）日本滑空協会 指定航空従事者養成施設を維持した。

A-II-3. クロスカントリーフライトパイロットの育成

① 高性能グライダーによるクロスカントリー

期間：令和5年4月～令和6年3月の週末、祭日

参加人数：15名

概要：高性能複座機を使用して経験豊かな教官の指導のもと、関東周辺から日本アルプス、東北地方への長距離飛行の訓練を試みた。

② 動力滑空機による航法訓練

期間：令和5年4月～令和6年3月の週末、祭日および週日

参加人数：5名

概要：動力滑空機を使用して関東周辺から福島空港などへの航法訓練を実施した。



A-II-4. エアロバティックフライトパイロットの育成
未実施

A-II-5. ウェーブフライトパイロットの育成

期間：令和5年4月～令和6年3月の週末、祭日および週日

参加人数：10名

概要：高性能複座機を使用して経験豊かな教官の指導のもと、ウェーブ（山岳波）を利用して高高度飛行の訓練を試みた。

A-II-6. 世界選手権（速度競技・曲技）、日本選手権等の競技会出場選手の養成

期間：令和5年4月～令和6年3月の週末および祭日

参加人数：2名

概要：海外選手権参加予定の2名のパイロットに対し、練習環境の充実と支援体制を整えた。

A-II-7. 飛行頻度バロメーターに準拠した年間飛行目標回数、飛行時間の達成

今年度未実施

A-II-8. 希望者の要望に応じた目標設定とサポート

今年度未実施

A-III. グライダーの普及ならびに飛行技術の向上を図るための講習会

A-III-1. グライダーベーシックコース

今年度未実施

A-III-2. グライダー操縦士資格取得 受験対策コース

① グライダー受験準備（適時）

期間：令和5年4月～令和6年3月の週末、祭日および週日

参加人数：11名

概要：自家用操縦士滑空機上級資格の取得に向けたトレーニングを行った。

② 自家用操縦士滑空機上級（HCG）から動力（MGO）への限定変更受験準備コース

期間：令和6年1月7日,令和6年1月8日

参加人数：1名、聴講3名

概要：自家用操縦士動力滑空機限定変更実地試験受験の受験準備状況を確認し、受験準備の補強を行い、受験に向けての準備が行われていることを確認した。



③ 曳航装置無動力滑空機限定変更実地試験受験

期間：令和6年2月27日

参加人数：1名

概要：自家用操縦士動力滑空機限定変更実地試験が行われ、宮原会員が合格した。



④ 事業用・教育証明受験準備（適時）

今年度未実施

A-III-3. 自家用上級滑空機 指定養成コース

①指定養成入所準備コース（年1回）

期間：令和5年10月14日,令和5年10月15日

参加人数：2名

概要：指定航空従事者養成施設入所に向けた知識、技量の習得、確認を行った。

②指定養成課程（年1回）

期間：令和5年12月2日、12月3日、12月9日、12月10日、12月17日、令和6年1月7日、1月13日、1月14日の間の8日

参加人数：2名

概要：（公社）日本滑空協会 指定養成従事者施設 令和5年度第3期板倉コースが開催された。天野会員、高見澤会員が合格し、ライセンスを取得した。



A-III-4. クロスカントリー（C/C）講習会

① グライダーによる C/C の講習会（座学およびフライト）（適時）

② モーターグライダーによる航法の講習会（座学およびフライト）（適時）

③ モーターグライダーによる不時着場の下見（適時）

今年度未実施

A-III-5. ウェーブフライト講習会

① ウェーブフライト講習会（座学）

期間：令和6年2月20日

参加人数：28名

概要：Dimona でのウェーブフライト講習会（フライト）に備えて、市川会員が講師として座学を実施した。28名が参加した



② ウェーブフライト講習会（フライト）

期間：令和6年3月3日、3月10日

参加人数：2名（参加希望7名）

概要：Dimonaでのウェーブ実技講習を実施した。2名の実技講習を実施した。



A-III-6. EMFT 講習会

① 異常姿勢からの回復、緊急操作の技量向上の為の講習会（年1回以上）

期間：令和5年11月4日、11月5日

参加人数：12名（内7名会員）

概要：（公社）日本滑空協会 滑空スポーツ講習会 実技講習会 EMFT 講習会を主管クラブとして開催した。

講師 櫻井会員、曳航スタッフ 酒井会員、事務局 岡村会員 丸山会員



② 上記の指導者の養成

今年度未実施

A-III-7. 高々度飛行に必要な知識習得のための講習会

① 高々度飛行に必要な知識（年1回）

A-III-5 と重複

A-III-8. 事業用・教育証明受験準備講習会

飛行を目的としたより高度な指導技術を有する指導者の養成を目的とした講習会(座学 年2回、実技 年1回)

今年度未実施

A-III-9. 板倉安全会議

期間：令和5年12月23日

参加人数：40名

概要：1年間の板倉滑空場で発生したヒヤリハット、インシデントおよび過去のヒヤリハット事例を振り返る学びの場を、板倉サロンとZoomを利用したオンラインで開催した。



A-III-10. 整備講習会

期間：令和5年4月～令和6年3月

参加人数：34名

概要：延べ12コースの整備講習会を開催した。令和4年の航空整備士実地試験要領の改訂に伴い、二等航空運航整備士受験準備コースの日程を4日、二等航空運航整備士受験実地コースの日程を8日に拡大して対応した。34名が参加し、12名の整備士が誕生した（二等航空運航整備士滑空機上級 6名、二等航空整備士滑空機上級 2名、二等航空整備士滑空機動力 4名）。

山木講師、畠本講師、二宮講師の3人体制で整備士資格取得希望者の増加に対応した。

会員からは八尾会員（二等航空整備士 動力滑空機）、石井会員（二等航空整備士 動力滑空機）、石川会員（二等航空整備士 動力滑空機）、が資格を取得した。

**A-III-11. その他グライダースポーツに役立つ講習会の開催**

セミナー名：JSC ソアリングセミナー「ソアリング予報ツール SkySight 開発者が語るソアリング」

期間：4月8日 15:00 - 18:00

場所：東京大学本郷キャンパス 工学部7号館 2階会議室

参加人数：申込 オンライン68名、現地12名 参加 オンライン60名、現地11名

概要：SkySight 開発者の Matthew Scutter さん来日にあわせて、SkySight 翻訳を担当している寺本会員を中心に SkySight の紹介セミナーを開催した。



A-IV. 競技会の開催

A-IV-1. 令和5年度「OLC 板倉マンスリーコンペ」滑空競技会

期間：令和4年12月～令和5年11月

参加人数：37名

概要：板倉滑空場をベースとして活動するグライダーパイロットを対象として、オンラインコンテスト（OLC）を利用した月間競技会を開催した。各月、年間を通じて優秀なフライトに対して表彰を行った。（表彰者は付録参照）



令和6年度「OLC 板倉マンスリーコンペ」からは、クラブがOLCコンペ寄付金を集めることとした。

A-IV-2. 日本選手権等開催などへの協力、滑空場の提供

今年度開催無し

A-IV-3. 世界選手権等の競技会出場会員へのサポート

D-7. 世界選手権参加支援事業にてサポートを実施した。

A-V. グライダーの操縦技術、安全運航、事故防止対策に関する研究会、講演会などの開催

A-V-1. AFRコース（Annual Flight Review 年次フライトレビュー）

期間：令和5年4月～令和6年3月の各週末、祭日

参加人数：板倉滑空場で機長として飛行する操縦者全員（滑空機26名、動力滑空機20名、飛行機3名）

概要：板倉滑空場にて機長として飛行するパイロットに対して、クラブ規定により1年に一度義務付けられているAFRを、滑空機、動力滑空機、曳航機毎に実施した。

A-V-2. 特定操縦技能審査（滑空機、飛行機）

期間：令和5年4月～令和6年3月の各週末、祭日

参加人数：板倉滑空場で機長として飛行する操縦者（滑空機25名、飛行機4名受審）

概要：特定操縦技能審査を実施する体制を整えて、対象者に対して隔年で実施した。



A-V-3. 操縦インストラクター・曳航パイロットの任用・リフレッシュ訓練

期間：令和5年4月～令和6年3月

参加人数：グライダーインストラクター18名（内指定養成教官4名）、Husky 曳航パイロット8名、Dimona 曳航パイロット8名、モーターグライダーインストラクター9名

概要：特定操縦技能審査制度、AFR規定、インストラクターおよび曳航パイロット任用規定に従い実施。

A-VI. グライダーに関する出版物等による航空思想の普及

A-VI-1. クラブホームページの整備、ブログ、Twitter での情報発信

・2023年のホームページのページビューは66,000ページビューで前年度の90,000ページビューから24,000ページビューの減少となった。令和5年度は体験搭乗問合せ82件、インバウンド旅行者からの問い合わせは多いが、体験搭乗からの入会は0名で、入会につながるような問い合わせは減少している。下期は体験搭乗者数が減少している。

・Twitter, Facebookのフォロワー数は2024年4月時点で合計1,441名となり、2023年4月1,220名と比較して221名の増加となった。ブログと併せてクラブの活動状況の一般への認知向上、新入会員の入会へ繋がっている。

・新たにInstagramのアカウントを開設し、田村会員を中心に運用を開始した。

・ホームページのアクセスの減少が、体験搭乗問い合わせの減少、入会者減少となっている。

A-VI-2. 広報誌 JSC ニュースの制作、関連図書出版

・クラブニュース「JSC News」を四半期毎に年4回発行した（2023年7月、2023年10月、2024年1月、2024年4月）。事業報告書に沿った内容に加えて、クラブ内での周知事項（特集記事、新入会員紹介、アナウンス、経理担当からのお知らせ、おめでとうございます、整備関連のお知らせ、安全関連、その他のお知らせ）についてもまとめて掲載し、クラブ内コミュニケーションツールとして活用している。

・恒久的なクラブ内のお知らせについてはホームページの会員限定ページで参照できるようにした。

・Sailplane & Gliding 2023年6月-7月号 JAPAN 1,000KM SETS A RECORD

イギリス滑空協会の機関誌に田上会員の2021年5月に実施した1,000km距離飛行の記事が掲載された。

・Sailplane & Gliding 2024年2月-3月号 Trip to Japan 'completes' continents

令和5年4月に日本を訪問したSkySight開発者のMatthewさんの日本でのグライダーについての紹介記事で、

板倉滑空場から田上会員がエスコートしたディモナでの富士山へのフライト、グライダー格納時の土手越えの様子などが紹介された。



A-VI-3. グライダー気象情報利用者拡大へのPR

- ・ グライダー気象サービス BLIPMAP <http://blipmap.glider.jp/>の国内向けサービス（関東エリア、東北エリア）のサーバー運用、及び北海道、中部、九州エリアのサーバー運用支援を岡村理事が行っている。
- ・ グライダー気象サービス SkySight <https://skysight.io/> の日本語化サポート、普及促進を寺本会員が行っている。

A-VII. 学生団体合宿の受け入れ

A-VII-1. 学生団体の合宿、訓練の受け入れ、普及貢献

下記1団体から延べ3日、6名の訓練受入を行った。

- ・ 慶應義塾体育會航空部

期間：令和5年4月～令和6年3月の各週末、祭日 計3日

参加人数：計6名

概要：モーターグライダーを利用した銀賞50kmの下見、三田ソアリングクラブ Duo Discus XT を利用したソアリング訓練を実施。



B.公益目的事業 2 (公 2 航空情報提供事業)

B-I. 板倉フライトサービスの運用

板倉滑空場付近の航空の安全を図るため、運航日毎にフライトサービス担当者を指名し、周辺を飛行する航空機からの飛行情報の要求に的確に対応できる体制を整えている。

*AIC 041/14 板倉フライトサービス：滑空場周辺半径 5NM 以内 5,000ft 以下。

B-II. 緊急時の場外離着陸場の提供、維持管理

B-II-1. 陸上自衛隊航空学校宇都宮分校訓練ヘリの場外離着陸場としての使用承諾

訓練ヘリコプターの予防着陸のため、緊急時の場外離着陸場として使用したいとの要請があり陸上自衛隊航空学校宇都宮校と年度毎の使用承諾書を締結している。陸上自衛隊ヘリコプターの不時着訓練を平日に随時実施している。

令和5年7月4日に自衛隊ヘリコプターの訓練中に装置の一部に不具合のおそれ知らせる注意灯が点滅し安全を確認するため板倉滑空場に「予防着陸」を実施した。その後安全が確認され、正午過ぎに宇都宮飛行場に戻った。

B-II-2. ドクターヘリのランデブーポイントの提供

栃木県、群馬県ドクターヘリのランデブーポイントを提供している

C.クラブ組織の整備

C-I. 定款及び規程に沿った公益事業の執行、事務作業の効率化

C-I-1. 会員総会、理事会の適正な開催（時期、議案）によるガバナンスの強化

定款に従った公益事業執行体制、定款および規定に沿った業務遂行により、組織の充実を図った。また、オンラインミーティング（Zoom）を活用して、総会、理事会、スタッフミーティング、各種講習会をオンラインとのハ

イブリッドで開催して感染予防、参加促進に努めた。

・令和5年度総会(6/10)

会員数 102 名 (2023/5/21 現在)、返信 電磁的記録 46 名、委任 2 名

当日参加 サロン参加 13 名 オンライン参加 18 名

合計 79 名

以下議案が賛成多数を持って決議されました。

1) 令和4年度(73期、令和4年4月1日～令和5年3月31日) 事業報告

2) 令和4年度(73期、令和4年4月1日～令和5年3月31日) 決算報告

3) 重要な財産の処分について

ハスキーJA4171 交換用エンジンの支払に備えて、機材準備金積立の取り崩しを決議した。結果的には一般会計の中で支払を行うことが出来、機材準備金積立の取り崩しは行わなかった。

4) 令和5年度役員を選任について

鐘尾みや子理事、中西敬夫理事が退任し、櫻井玲子理事、萩原久利理事が新任となった。他の理事・監事については再任された。

総会に引き続き、11:00-12:00 で今年度の事業計画、予算についての概要説明と討議、2023年世界選手権参加支援事業についての説明が実施された。

・新橋事務所の閉鎖に伴い、館林市に事務所を構える平野・山田司法書士事務所と契約した。6月総会後の役員変更の変更登記を依頼した。

・令和5年度理事会

12回の理事会を開催した。

・ハラスメント相談窓口を設置した。相談窓口 稲垣理事長、櫻井理事

・2024年3月6日消費者庁主催「不当寄附勧誘防止法説明会」に稲垣理事長が参加した。

C-I-2. 会計業務外部委託、ネットバンキング活用、会計ソフトの会計事務所との共通化による業務効率化

・経理業務の業務委託を継続した。

・国税（源泉所得税、航空機燃料税、消費税、法人税）の e-Tax でのダイレクト納付に対応した。

C-I-3. 板倉での支払いキャッシュレス化による業務効率化

・会員については口座引落、一部の体験搭乗については Air ペイのクレジットカード決済サービスでの対応でキャッシュレスを実施した。

・滑走路でのキャッシュレス決済に対応するため、従来からのクレジットカード決済に追加して、QR コード決済 (PayPay) を導入した。

・法人名義クレジットカード (三井住友ビジネスパーチェシングカード) を導入した。従来担当者が立替精算を行っていたオンラインサービス費用 (ホームページ、レンタルサーバー、Zoom ライセンス等) をクラブが直接支払い出来るようにして、担当者に依存せずに支払を継続出来るようにした。

C-I-4. データ共有化 (One Drive、Google Drive) による事務作業効率化

- ・会員への支払、会員からの引落データを OneDrive で共有し、会員自身での確認を可能にしている。
- ・テックスープ・ジャパンとの公益法人を対象としたソフトウェア寄贈プログラムの契約により、Microsoft 社製品、Zoom 社製品、Norton 社製品、Adobe 社製品の優待利用、Google 社の非営利団体向けプログラム”Google Apps for Nonprofits”の無償利用が可能になり、資料共有、写真共有、講習会動画共有など、クラブ内外の活動に活用している。

C-II. 人材**C-II-1. 運航スタッフの育成**

運航を支える運航リーダー、インストラクター、曳航パイロット、ピスト担当の育成、EMFT、クロスカンントリー、モーターグライダー、指定養成施設のインストラクターの育成、充実。

- ・長谷川会員、石川会員のインストラクター任用訓練を実施し、インストラクタースタッフとしての活動を開始した。
- ・岡村会員、市川会員が新たにデモナクラス B インストラクターのチェックアウトを行った。
- ・熊谷会員のグライダーインストラクター、デモナインストラクターの復帰訓練を完了した。曳航パイロットの復帰訓練を今後行う。
- ・熊谷会員の運航リーダー任用を行った。
- ・ピスト担当者 6 名（末松会員、畠本会員、山本会員、渡邊泰啓会員、嶋田会員、田村会員）の任用を継続した。
- ・以下の運航スタッフの体制を維持した。
- ・グライダーインストラクター 18 名（丸山チーフインストラクター、稲垣会員、茂木会員、宇賀神会員、岡村会員、櫻井会員、三ツ目会員、吉岡会員、本田会員、宗会員、小林会員、須長会員、市川会員、熊谷会員、宮原会員、津久井会員、長谷川会員、石川会員）、指定航空従事者養成施設インストラクター 5 名（稲垣訓練所長、丸山会員、岡村会員、津久井会員、鈴木重輝会員）
- ・モーターグライダーインストラクター 8 名（茂木チーフインストラクター、櫻井チーフインストラクター、岡村会員、丸山会員、小林会員、須長会員、熊谷会員、市川会員）
- ・ハスキー曳航パイロット 8 名（岡村タグマスター、稲積会員、初野会員、田上会員、酒井会員、熊谷会員、市川会員、萩原会員）
- ・デモナ曳航パイロット 11 名（岡村タグマスター、茂木会員、稲積会員、田上会員、熊谷会員、市川会員、茂木会員、篠崎会員、櫻井会員、須長会員、小林会員）の体制を維持した
- ・曳航パイロットの飛行機特定操縦技能審査員資格取得についての調査を進めた。

C-II-2. 整備スタッフの育成

- ・機体整備内製化を支える整備士、耐空検査員の育成、充実
- ・クラブ整備スタッフ 6 名の体制を維持した。（山木会員、宇賀神会員、二宮会員、畠本会員、藤元会員、岩崎会員）
- ・耐空検査員 6 名の体制を維持した（吉田功検査員、山本検査員、初野検査員、山木検査員、岡村検査員、藤元検査員）

C-II-3. 特定操縦技能審査員の育成

- ・市川会員が新たに滑空機の特定操縦技能審査員の認定を受けた。
- ・特定操縦技能審査員 飛行機 4 名（鈴木会員、櫻井会員、植田会員、鐘尾会員）、滑空機 16 名（丸山会員、小林会員、宗会員、稲垣会員、津久井会員、三ツ目会員、鈴木会員、茂木会員、岡村会員、櫻井会員、宮原会員、宇賀神会員、熊谷会員、須長会員、植田会員、市川会員）の体制を維持した。

C-II-4. 滑空記章試験員の育成

- ・2023 年度は日本滑空記章試験員、公式立会人の更新期となった。日本滑空記章試験員 8 名（宇賀神会員、岡村会員、熊谷会員、宗会員、櫻井会員、丸山会員、宮原会員、津久井会員）、国際滑空記章公式立会人 6 名（市川会員、宇賀神会員、岡村会員、櫻井会員、熊谷会員、丸山会員）の更新、新任を行い、滑空記章取得の体制を維持した。

日本滑空記章 A 章 0 名、B 章 0 名、C 章 2 名、銅賞 0 名、国際滑空記章銀賞 5 時間 1 名、国際滑空記章獲得高度 1000m 1 名を達成した。

C-II-5. 管理業務スタッフの育成

理事、板倉事務所長、Gliding Japan 担当、ホームページ/SNS 担当、ML 管理者等の業務スタッフ要員の育成

- ・SNS 担当として、従来寺本会員、萩原会員、酒井会員、初野会員、田上会員、丸山会員に加えて、田村会員が新たに SNS 担当となった。

C-II-6. 会員ボランティア促進

以下の活動について会員の積極的な対応を促進した。

- ・活動日の藤岡駅ピックアップ
- ・ライセンス所有会員のフライトサービス対応
- ・年末大掃除、滑空場整備作業、草刈への参加

C-II-7. 若年層支援プログラム

クラブの持続的な継続を目的として、若年会員の拡大に努めるため、ジュニア/ユース会員制度、ラインサポーター制度を活用して若年層支援および若年会員の拡大を行った。また、クロスカントリー飛行等高度な飛行への挑戦などを目指している若者を対象としたユースキャンプ開催の受入を行う（今年度未実施）。

- ・ユース会員 12 名、ジュニア会員 13 名と若年層が拡大し、会員の平均年齢が 53 歳と 2022 年度と比較してさらに一歳若返った。ユース・ジュニア世代はライフイベント（就職・転勤・結婚出産）に伴いクラブ継続が一時的に難しくなるケースもあり、賛助会員制度を活用した一時休会・再復帰を案内している。

- ・ラインサポーター制度：令和 5 年度参加者 21 名

大学航空部員を対象に、運航に参加することで、クラブの雰囲気を知り、若年層が入会しやすくなる施策を実施している。本制度の経験を経て新規入会するジュニア・ユース会員が毎年若干名存在する。ラインサポーター制度を経験した入会者は 2023 年度は 0 名。

C-II-8. 世界選手権・日本選手権への選手・チーム・クルー・スタッフとしての参加・協力

・アクロ競技世界選手権について 酒井会員がポーランドで開催された第13回グライダーアクロ世界選手権アドバンスクラスに参加した。33位 / 34機。

C-III. 機材・施設

C-III-1. 飛行機材の充実

①次期曳航機の導入

曳航機整備については外注整備、なおかつ経年劣化に伴う整備費増大が続いており、費用軽減のためにも新曳航機への更新が喫緊の課題である。

2019年から3年計画で「時期曳航機のための募集特定寄付」事業を実施中だが、目標額20,000,000円の達成が目標期間内に困難なため、募集期間を2024年10月まで2年延長して、目標達成まで継続することとした。

令和5年度実績は1,950,000円(9名)となった。2019年10月の開始から、合計13,264,000円、(延べ131名)となった。

2023年7月のJA4171エンジン交換実施に伴い、次期曳航機導入までの時間的余裕ができたこと、および物価高騰により目標金額を増額する必要が生じたことから、本特定寄付事業の期間を2027年まで延長し、目標金額も3,000万円と変更することを決定した。

②JA4171ハスキーエンジン更新

現行曳航機JA4171のエンジンのオイル消費率が上昇したため、新曳航機更新前に急遽現行曳航機のエンジンの交換が必要となり、2022年5月にリビルト品の発注を行った。800万円の資金計画で「ハスキーJA4171交換用エンジンの為の募集特定寄付」事業を2022年度に別途募集し、2023年3月31日までで、延べ54名から5,925,000円の寄付を頂いた。

2023年7月にエンジンが到着し、交換を完了、以後はエンジンについては安定した運用を継続できている。エンジン本体が7,090,600円、換装作業・パーツ費用が1,927,777円、合計9,018,377円となった。費用は上記寄付の5,925,000円と、差額の3,093,377円については一般会計から支払を行った。



③練習機

現行の3機体制（Twin-2、Twin-3、Astir）を維持した。

④スタンダード機（Discus、LS-4）

継続検討。

オーナー会での飛行を希望する会員については適時オーナー会への紹介を行った。6名の会員が新たにオーナー会に所属してフライトを開始した。（飯田会員、渡邊会員、白倉会員、山田会員、松井研人会員、小川会員）

⑤高度な飛行技術の伝承に必要な高性能複座機

オーナー機レンタル制度を継続検討。

⑥ディモナ

単座機曳航、グライダー操縦訓練、不時着場下見、技能証明限定変更訓練等に活用した。

2019年の運航復帰移行、年間120時間～140時間の運用を継続している。Rotax エンジンも納期1年、870万円と価格が上昇しており、TBO 2,000時間を踏まえて2024年度の中期計画へ更新計画を反映、2024年度予算から積立を予算化した。

・機体整備

クラブのグライダー3機、モーターグライダー1機の整備はクラブ整備スタッフにより内製化が継続できている。内製化により、整備による休止期間の短縮、整備費用軽減に繋がっている。

C-III-2. 運航機材の維持、更新

①草刈り機の維持・整備。

2021年度に導入した滑走路用草刈り機については、整備スタッフでの整備を継続して維持している。



②土手用草刈り機（バロネス）の更新。

従来の土手法面草刈り機 HMD91 については、軽量の運転者の方向転換操作の際に草刈り機本体の転倒・脱輪の可能性があるので、安全性を考えて土手法面草刈り機の更新の検討を行った。



クローラー型バロネス HM110 を中古（30年物）で2023年5月に導入した。整備作業を行い、6月から本格的に稼働を開始した。

8月の猛暑時の草刈り作業中に、熱中症のため意識を失うヒヤリハットが発生した。安全に草刈りをするため、猛暑時間を避けた作業時間の設定、自動停止スイッチの増設、4台の草刈り機全部を対象に特定農機具傷害共済保険の加入を行い、安全に作業を行うための環境を整えて行った。

③ピストカー、燃料車について

車両整備担当を山田氏から酒井会員に引き継いだ。

ピストカーの暗電流対策として、平日の充電の仕組みを装備した。

C-III-3. 滑走路の維持・整備

①会員ボランティアによる草刈りの励行

草刈隊14名（従来からの、二宮リーダー、稲垣会員、稲垣会員、宇賀神会員、岡村会員、須長会員、千葉会員、藤元会員、深沢会員、山木会員に加えて、今年度から末松会員、畠本会員、萩原会員、野々村会員）+地元ボランティア築井指導員を中心に、4月から10月まで、平日に週2回ペースで実施した。

延べクラブ員23回、築井氏40回の草刈を実施した。ディスクモア草刈機により、植生が変わり、芝が増え、雑草が減ることになって良好な路面を維持できている。トラクターの性能向上により、草刈の時間が短縮されている。



草刈り隊は滑走路だけでなく、駐機場、誘導路、退避エリア、土手などを含む広いエリアを手分けしながら草刈りを行うだけでなく、年代物の草刈り機たちのメンテナンスも実施した。

②滑走路面、土手側運搬路、坂路の整地

③接地帯標識（布ハン）、吹き流しの維持・整備

- ・接地帯標識（布ハン）の老朽化に伴い、破損の進んだ接地帯標識を交換した。

④河川敷地占用許可の維持、更新

11/8 渡良瀬川河川事務所による河川占用履行検査が実施され、指摘事項無く検査を終えることが出来た。令和5年は5年ごとの河川敷地占用許可の更新時期となり、継続の許可を頂くことが出来た。新たな更新期間は令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間となった。また、土手坂路の看板設置のため、土手側、川側両面の坂路の占用許可を追加で申請し許可を頂いた。

C-III-4. 施設の維持、整備

- ①板倉事務室の整理・整頓。床、天井の維持（将来の補修計画検討）。
- ②サロン、浴室、キッチン、トイレの維持・整備。
- ③休憩室（2F）、女子部屋の維持・整備。
- ④整備場の整理・整頓、工具の拡充。整備小屋の補修。

整備講習室と格納庫の間にジャバラカーテンを導入した。夏場の整備講習を快適に実施出来るようになった。

- ⑤格納庫、補修必要箇所の調査。
- ⑥ライブカメラを用いた滑空場運航情報提供
 - ・ウエザーニュース社のライブカメラを格納庫上部に設置し、滑走路の状況を常に視認できる体制をとり、来訪者の利便性を高めている。（ウエザーニュース社ホームページと、クラブホームページから閲覧可能）
- ⑦PC、複合機、無線 LAN の維持、更新
- ⑧格納庫、作業小屋間の駐車スペースの砂利入れを、大掃除の際に会員ボランティアの協力の下実施した。



C-IV. 組織運営

C-IV-1. 安全活動の強化

- ①ヒヤリハットレポートの促進、活用、共有化

ヒヤリハットレポートの提出促進、活用により経験を共有し、航空事故防止を図った。令和5年度は12件のヒ

ヤリハットレポートが提出された。

②スタッフミーティングの定期開催（四半期毎）

2020年8月のインシデントを踏まえて、四半期毎に定例スタッフミーティングを開催している。会員の状況、スタッフ間で共有、検討したい内容について討議を行った。

06/17開催 参加14名、09/16開催 参加17名、12/16開催 参加15名、03/09開催 参加18名
延べで29名のスタッフの約半数が参加している。

③飛行終了後のデブリーフィングの定着と安全情報の共有

・デブリーフィングでの気づき・ヒヤリハットの共有、会員メーリングリストでの運航報告、必要に応じてスタッフメーリングリストでの対策検討、次回運航日の朝ブリーフィングでの情報共有、必要に応じてチェックアウトシステム、各種ガイドラインの更新、作成、オペレーションハンドブックの改訂による仕組み化、といった一連の安全行動システムのサイクルを回すようにしている。

・2024年2月にオペレーションハンドブックの改定を行った。今年のヒヤリハットを振り返り、適時メーリングリストでの共有でお知らせしていた対策をオペレーションハンドブックに組み込んだ。



日本グライダークラブの安全行動システム



④安全飛行確保の為の教育方法の高度化

・2020年8月のインシデントを受けて、進度表、シラバスの改訂を行った。パイロットに判断を促す様々な課題を設定して行うことで、想定外に発生することを想定・対応できるようなトレーニングを心がけている。

・クラブグライダーでの単独飛行を行うにあたり、機体別（TwinII、TwinIII、Astir）のチェックアウトフォームを作成した。クラブ機での単独飛行前にインストラクターが確認を行った上で単独飛行を許可する形とした。

・オーナー会個人機については担当インストラクターをアサインして、担当インストラクターがチェックアウト、チェックアウト後の見守り、相談を担当し、必要に応じてスタッフミーティングで検討を行っている。

・ライセンスの方のクラブ複座機のライセンス機長運航（インストラクターの監視下でない飛行）について、万が一事故・インシデント発生時はクラブ運航への影響が大きいため、過去の事例も踏まえ注意喚起を行った。

・自家用操縦士動力滑空機の過去の実地試験の内容を振り返り、動力滑空機限定変更のシラバスを実地試験細則に対応した内容に改訂した。

・以下の規程の改定を行った。

出張旅費・手当等の基準

REG-OPR10 曳航パイロット任用規程

REG-OPR18_インストラクター・タグパイロットトレーニング制度

REG-OPR23 曳航機利用規程

REG-OPR14 ディモナチェックアウト基準

MAN-OPR15 オペレーションハンドブック ヒヤリハットの内容を踏まえた対策を含めて改訂した。

搭乗チェックリスト（前席から後席キャノピーロック確認の追加）

⑤インストラクター間での練習生パイロットカルテの共有化による教育の効率化

・パイロットカルテをオンラインでスタッフ限定で共有してフライトでの気づきを共有するようにしている。パイロットカルテの内容はスタッフミーティングで定期的に見直している。

⑥会員間コミュニケーションの促進

安全の基盤となる会員間のコミュニケーションを促進するため、会員参加のパーティを開催した。

2023/5/6 BBQパーティ 参加 30名

2023/12/23 大掃除後忘年会 参加 40名



C-IV-2. 運航回数増への取り組み

経営基盤の強化、平日に活動できる会員の増加に対応するため下記を実施。

- ① 隔週金曜に実施しているモーターグライダーの平日運用日の拡大。
- ② ディモナ搭乗料パックキャンペーン、曳航パックキャンペーン等の割引制度の活用。

令和5年度未実施

- ③ ディモナ運航に合わせた単座グライダーの金曜運航

- ④ ハイシーズン限定の平日運航（金、月限定）

・モーターグライダーの金曜運航、ディモナ運航に合わせた単座グライダーの金曜運航時のスタッフの確保
令和5年度は平日ディモナ運航を8日（計画24日）行うことで、ディモナ飛行時間は曳航以外で112時間となり、会員の訓練機会の要望に対応することができた。曳航収入、練習収入を拡大することが出来た。

平日対応可能なディモナインストラクター、ディモナ曳航パイロット5名（小林会員、市川会員、茂木会員、須長会員、岡村会員）を維持した。

- ・単座機のディモナ曳航は猛暑期以外で実施することとした。

- ・近隣ホテルとの法人契約

カンデオホテルズ、ルートインホテルズ、館林ヒルズホテルとの法人契約を継続して、連続でのクラブ活動参加、遠方からの講習会参加者の利便性を高めている。

C-IV-3. 滑空記章取得促進のための体制

①滑空記章試験員、公式立会人の養成、申請

C-II-4 と重複

②滑空記章のレベルに対応した講習会の開催（適時）

今年度未実施

③滑空記章試験に必要な滑走路の整備、データロガーの整備

今年度未実施

C-IV-4. 新橋事務所の業務移管

①昨年の主たる事務所の移管に伴う各種業務への反映（納税、内閣府への報告、登記関係）

②新橋事務所からの転送郵便の処置（8月まで）

C-IV-5. 板倉管理人の業務引き継ぎ

①2021年6月から板倉常駐ではなく必要時業務支援に変更

②機材・施設整備、燃料手配、飲料補充、経理伝票発送業務等を実施

③将来の引き継ぎ検討要

車両整備業務については2024年1月より酒井会員に担当を引き継いだ。

D. その他クラブの目的に必要な事業

D-1. 動力機の騒音対策

①騒音対策のため滑空場周辺に5ヶ所（令和4年7月に1ヶ所追加）の飛行規制空域を設定し、それらの上空を避けるために見直した曳航経路の利用を継続した。

②エンジン騒音の低い動力滑空機スーパーディモナを単座機の曳航に活用した。

③北風発航時の滑走路北側エリアの騒音を低減させるために、滑走路33の離陸帯を平坦化して発航位置を150m南側へ移動し、北風発航時の曳航上昇高度を高くした。

④季候の良い時期の南風発航（滑走路15利用時）時は、15ライトターンデパーチャーパターン下の騒音防止区域を避けたため、可能な単座機、ディモナはレフトターンデパーチャーを使用して飛行を行った（猛暑期は考慮不要）

⑤騒音クレームには板倉町役場とも連携して真摯に対応している。

D-2. 地域との交流

①渡良瀬遊水地スポーツ利用者等連絡協議会「スカイスポーツ部会」参加

渡良瀬遊水地利用者相互並びに河川管理者との一層の理解と連携を強化し、情報を共有するために渡良瀬遊水地スポーツ利用者等連絡協議会が設置されている。年1回開催される渡良瀬遊水地スポーツ利用者等連絡協議会は書面開催となった。

日本グライダークラブはスカイダイビング、ウルトラライトプレーン、熱気球、モータパラグライダー、グライダーで構成されている「スカイスports部会」で情報交換をしている。毎月オンラインで開催され、稲垣理事長が参加した。渡良瀬遊水地で行われるスカイスportsイベント情報が共有され、他団体のイベントを考慮した運航を実施できた。

②近隣の市町村、団体主催のイベントへの参画（『渡良瀬遊水地フェスティバル』『渡良瀬遊水地クリーン作戦』『板倉商工祭』等）

・第39回板倉まつり 機体展示参加

期間：2023/8/5

参加人数：会員ボランティア12名

概要：板倉町役場駐車場で開催。機体展示で参加した。のべ100名前後の親子連れの方にコックピット体験搭乗をしていただき、町の方との交流を深めた。



・渡良瀬遊水地フェスティバル2023 機体展示参加

期間：2023/10/8

参加人数：会員ボランティア20名

概要：渡良瀬遊水地子供広場ゾーン及び谷中湖北ブロックで開催された。機体展示、紙飛行機教室、展示飛行を行って近隣住民との交流を深めた。



・板倉商工祭 機体展示参加

期間：2023/10/29

参加人数：会員ボランティア 11 名

概要：板倉町役場駐車場にて開催された。機体展示を行って近隣住民との交流を深めた。



・渡良瀬バルーンレース 2023 展示飛行参加

期間：2023/12/2

参加人数：会員ボランティア 3 名

概要：栃木市産業振興部観光振興課より協力依頼をいただいた。ディモナによる展示飛行・地上アナウンスの協力を行った。

・クラブ出展イベント対応のボランティア会員については交通費を支給した。

・クラブ出展イベントのクラブ活動告知のため3つ折りクラブ紹介パンフレットを更新した。



③ふるさと納税（JSC 利用券）の促進

*ふるさと納税の返礼品としてグライダー体験飛行を提供した。

令和5年度 ふるさと納税での体験飛行実施者：5名

*クラブ員有志が板倉町へふるさと納税を行い、地域との交流を図った。ふるさと納税への返礼品として、「日本グライダークラブ利用券」を登録することで、クラブ員の納税促進を図った。

令和5年度 ふるさと納税 日本グライダークラブ利用券実績：53件（27名）

④板倉町役場、板倉商工会への報告

・クラブの状況報告と飛行活動への理解を深めるため、稲垣理事長、小林理事が10月13日に板倉町役場を訪問し、栗原町長、鈴木企画調整係長へ前年度の活動報告、今年度の事業計画の説明を実施した。板倉町ホームページで紹介された。



・板倉町近隣住民向け四半期毎飛行計画チラシ配布のための板倉町役場への運航計画提出

板倉町からの近隣住民の方向けに四半期毎（4/1, 7/1, 10/1, 1/1 配布）にグライダー飛行計画案内のチラシを作成・配布頂いている。クラブからは板倉町役場企画財政課企画調整係に前月15日までに飛行計画を提出して確認頂いている。このような情報交換を通じて相互の理解を深めている。

⑤除川神社 春祭、秋祭への協力

除川神社では、春祭（4月第2日曜日）及び秋祭（11月第4日曜日）が行われている。今年は4月9日に春祭が

行われ、稲垣理事長が参加し寄進を行った。

D-3. 国内グライダークラブの組織化、交流、協力体制の確立等への支援

①全国グライダークラブミーティングへの参加

6月21日 オンライン開催 13団体参加

各団体からクラブ運営の課題を共有した。日本グライダークラブでのノウハウの共有を実施した。

12月2日～12月3日 愛知県岡崎市で対面開催され、丸山理事が参加した。全国から10クラブが参加。各クラブの取り組み、課題共有、特操縦技能審査の時間負担に関わる意見交換、チェックポイント以降のプロシージャの標準化についてのディスカッションが行われた。

②他クラブとの会員相互受け入れ等の検討

・今年度無し

③安全情報の共有

・D-4-④にて実施

④曳航機派遣協力

・(公財)日本学生航空連盟からの依頼により、妻沼滑空場での航空機曳航トレーニング、教育証明実地試験対応のため、曳航機を派遣して曳航を行った(12/18、12/21、12/22、1/23)。現在のビジター曳航料の設定は正直高額だが、曳航機整備費用が高止まりしており、1回あたりのコストで考えるとビジター曳航料では赤字になるため、曳航機派遣は機会を限定していただく理解を求めた。

D-4. 公益社団法人日本滑空協会 (JSA) との連携

① JSA 主催の講習会等への協力

・日本滑空協会 滑空スポーツ講習会2023 実技講習会事前オンライン学科講習

6月18日、6月25日 講師協力 櫻井会員

・日本滑空協会 滑空スポーツ講習会 2023 実技講習会 EMFT 講習会

9/23-9/24 角田滑空場、10/13-10/15 阿蘇場外離着陸場、11/11-11/12 関宿滑空場、11/4-11/5 板倉滑空場 (板倉滑空場開催分については開催地主管協力)

講師協力 櫻井会員

・日本滑空協会 滑空スポーツ講習会 2023 (航空安全講習会) 講師協力

2024年1月27日 名古屋 離陸のクリティカルワンミニッツに備える 津久井会員

2024年2月18日 福岡 離陸のクリティカルワンミニッツに備える 津久井会員

2024年3月9日 札幌 日常整備に役立つような雑情報 山木会員

滑空スポーツ講習会2023
第2・3回航空安全講習会資料

クリティカルワンミニッツに備える



2024年1月27日(名古屋)/2月18日(博多)
日本グライダークラブ/諏訪市グライダー協会
津久井 潤

- ・日本滑空協会 第1回整備士交流会 会場、講師協力
2024年2月18日 板倉滑空場整備場 参加20名 山木会員



②機関誌「Gliding Japan」への寄稿

嶋田会員がクラブニュース投稿を行った。

③JSA への入会促進

・EMFT 講習会開催案内、航空安全講習会への参加促進（特定操縦技能審査を受けるパイロットについては参加を強く推奨）、滑空記章申請、指定養成入所時に日本滑空協会への入会を案内した。多くの日本グライダークラブ会員の日本滑空協会入会につながった。

④JSA 安全部会との情報共有

・JSA 安全委員会が四半期ごとに開催された（4/25、7/26、10/23、1/23）。16クラブが参加、各クラブからのヒヤリハット、安全への取組の紹介があった。日本グライダークラブからはクラブで発生したヒヤリハット、安全行動システムのサイクル、パイロットカルテのオンライン共有の取り組みを紹介した。

・JSA 安全委員会からのアナウンスを適時クラブ内に共有して危険防止に役立てている。

⑤航空局等への陳情、調整

操縦教育証明実地試験細則で定められている操縦教育証明実地試験の実施を航空機曳航で実施することを、ウインチ曳航でも実施可能としたい要望の提案が日本滑空協会クラブミーティングを中心に行われている。将来的な

航空機曳航の継続可能性について検討を行った。

D-5. 会員の記録飛行等への挑戦に対する支援

期間：令和5年4月～令和6年3月

概要：高性能滑空機を使用し、ウェーブ（山岳波）による日本アルプス方面、東北地方から北海道に至る長距離記録飛行、高高度飛行の研究、空域の開拓を田上会員、市川会員を中心として行った。

- ①ウェーブをはじめとする好条件時に会員が記録飛行等に挑戦する場合、原則として本人が準備を行うこととするが、クラブとして可能な範囲で支援を行う。
- ②クラブ内での成果、知見の共有が出来ることが望ましい。

D-6. 再生可能エネルギー（太陽光発電システム）の活用、財政基盤の強化

- ・太陽光発電の売電収入

2023年7月以降は「再エネ買取標準プラン」に移行となるとの東京電力からの情報に従い、令和5年度からは買取制度の変更に伴う売電収入の減少を踏まえた予算化を行ったが、東京電力の間違いで、10kWh以上の発電については20年間現在の買い取り価格が維持されることが分かった。2033年度までは現在の固定価格での買い取りで予算化を行った。

D-7. 世界選手権等参加支援寄付事業

- ・令和5年度世界選手権等参加支援事業

世界大会への選手・チーム・クルーとしての積極的な参加・協力のため、下記事業を実施した。

事業1. 2023年第13回アドバンスドグライダーアクロ世界選手権参加支援事業に関わる寄付金の募集（当クラブ会員の酒井会員が参加）

期間：令和5年6月10日～令和5年8月31日

事業 39名 715,000円

11/18に板倉滑空場サロンとオンラインのハイブリッドで報告会を開催、会場参加5名（内一般2名）、オンライン15名の計20名の方に参加いただいた。開催報告をホームページに掲載した。

D-8. 保険契約の維持更新

①航空機保険

2024年度からのグライダー保険値上げを踏まえた予算化を行った。

②施設所有管理者賠償責任保険

③事業活動総合保険

④自動車保険

⑤特定農機具傷害共済保険

2023年10月より草刈り機4台に対して新規契約した。

D-9. 基地連絡会への参加

基地連絡会への出席を通じ、各基地との情報交換、交流に努めた。

従来鈴木重輝会員が対応してきたが、萩原理事に引き継ぎを行っている。

①関東西部地区飛行連絡会（航空自衛隊・入間基地）への参加

期間：令和6年3月13日

参加人数：1名

概要：鈴木会員が参加して、入間基地周辺の飛行情報の収集、会員への周知に努めた。

②北関東航空連絡会（陸上自衛隊・北宇都宮駐屯地）への参加

今年度開催無し

③下総航空基地周辺飛行安全会同（海上自衛隊・下総基地）への参加

期間：令和5年11月22日

参加人数：2名

概要：萩原会員、鈴木会員が参加して、下総基地周辺の飛行情報の収集、会員への周知に努めた。



④横田基地 航空機空中衝突防止対策会議への参加

期間：令和5年11月2日

参加人数：7名

概要：市川会員、岡村会員、鈴木会員、佐志田会員、畠本会員、八尾会員、嶋田会員が参加、横田基地周辺の飛行情報の収集、会員への周知に努めた。



付録. 活動の記録

付-1. 発航回数、運航日

- ・ 運航計画日 計 142 日
- ・ 内ディモナ運航計画日 計 24 日
- ・ 運航日 計 90 日
- ・ 内ディモナ集中運航日 平日 8 日
- ・ 総発航 回数 1,401 回
- ・ 曳航回数 1,202 回 (JA4171 879 回、JA4083 157 回、JA2845 166 回)

No.	登録記号	総時間	
		飛行時間	回数
1	JA2412	145:45	325
2	JA2442	137:46	294
3	JA2444	111:26	98
4	JA2845	146:28	370
5	JA4171	144:10	891
7	JA08AP	1:08	3
8	JA11AA	35:27	14
9	JA21TD	56:51	18
10	JA2254	0:28	1
11	JA22AT	48:19	13
12	JA22KF	31:23	19
13	JA22KJ	0:00	0
14	JA22MX	59:48	49
15	JA2310	0:00	0
17	JA2395	24:30	13
19	JA2411	90:43	57
21	JA2431	0:39	1
22	JA2468	87:24	47
23	JA2476	1:18	2
24	JA2485	43:37	17
25	JA24UK	68:57	28
26	JA2542	66:01	55
27	JA40DG	56:45	18
28	JA58HD	85:00	38
29	JA767Y	61:04	31
30	JA800A	11:08	9
32	JA2238	17:01	18

33	JA4083	22:55	157
34	JA2727	24:04	17
合計		1580:05	2603
曳航(4171,2845,4083)		193:27	1202
曳航を除く		1386:38	1401
曳航による飛行時間		1207:07	1163
自力発航による飛行時間		179:31	238

付-2. 総会員数：

正会員 104 名、賛助会員 52 名

令和5年度新規入会 6名（正会員1名、ジュニア会員4名、賛助会員からの復帰1名）

3月末 正会員退会 5名、賛助会員移行 7名、賛助会員退会 5名

付-3. 記録・表彰

日本記録 DO 級：女性 三旋点距離 784.2km 櫻井会員 ヴェロニカ飛行場（ナミビア） グラスフリューゲル式 304MS 型 飛行日 2023 年 12 月 25 日 認定日 2024 年 2 月 6 日



写真 （一社）女性航空協会 Facebook より

付-4. 操縦士資格取得

自家用操縦士 滑空機上級 天野会員、高見澤会員 1月14日

自家用操縦士 曳航装置無動力滑空機限定変更 宮原会員 2月27日

付-5. 整備士資格取得

二等航空整備士 滑空機動力 八尾会員、石井会員、石川会員

付-6. 滑空記章の取得

A章 なし
 B章 なし
 C章 5月6日 天野会員、6月25日 高見澤会員
 銅章 なし
 銀賞5時間 6月25日 上田会員
 銀賞獲得1,000m 4月23日 渡邊泰啓会員



付-7. ヒヤリハット

No.23-02	2023/5/3	着陸時にギアダウン失念
No.23-03	2023/5/28	地上牽引中翼端が杭に接触
No.23-04	2023/6/17	ソロ飛行時の後席キャノピーロック不全
No.23-05	2023/8/26	機体をリギング中、ワンマンリガーの破損により主翼が倒れる
No.23-06	2023/8/3	土手のり面草刈り作業中の熱中症
No.23-07	2023/10/21	自力発航機(SL) 離陸後 600ft でエンジン出力低下により逆進入
No.24-01	2024/2/10	Dimona 右席接地操作不良、バウンドしながらゴーアラウンド
No.24-02	2024/2/10	DG300 着陸後ギアアップ
No.24-03	2024/3/10	サステナーエンジンからの燃料リーク
No.24-04	2024/3/17	ディモナ曳航時曳航初期で高度が取れなかった
No.24-05	2024/3/17	航空機曳航離陸時の蛇行
No.24-06	2024/3/17	初 DG400 上空でギアダウンロックが出来ずギアアップ着陸

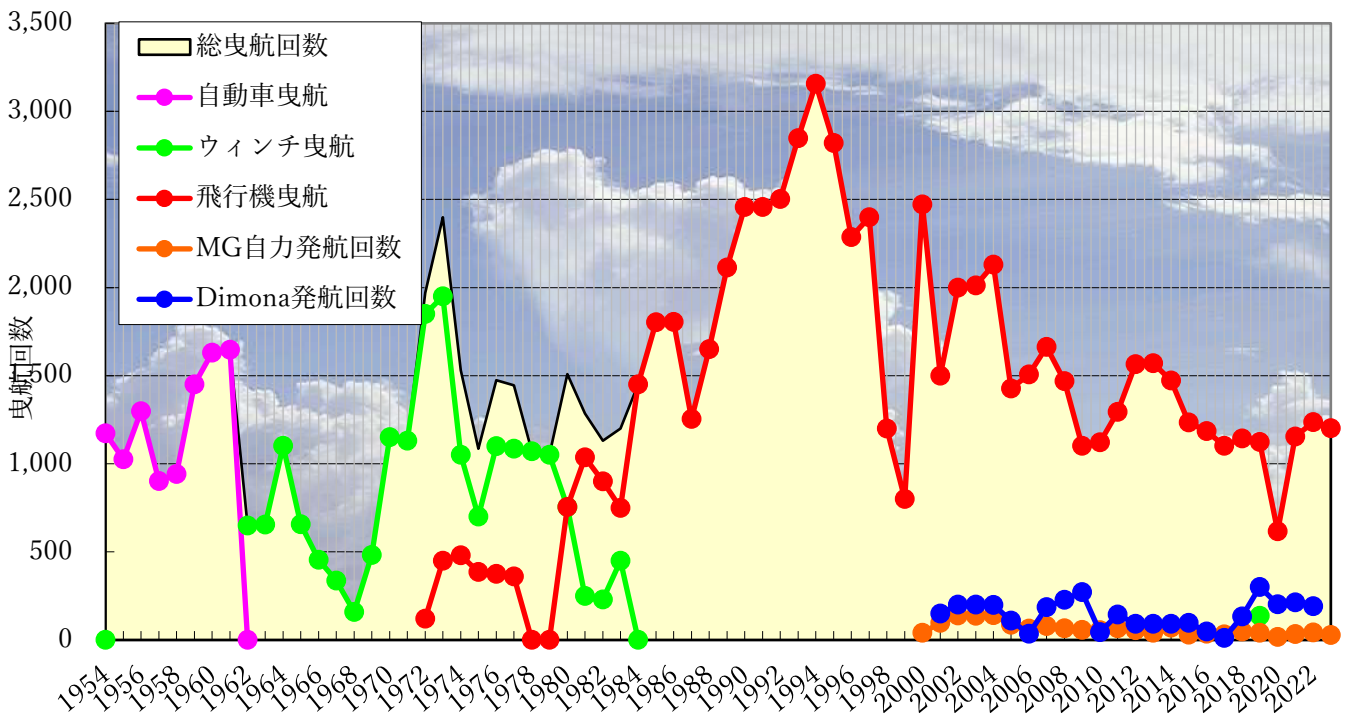


付-8. インシデント

無し

付-9. 曳航回数推移

曳航回数推移 (1954-2023)



付-10. 整備講習会 開催実績

- ・整備 日常基礎講習 令和5年4月29日、4月30日 8名
- ・整備 FRP講習 令和6年2月3日、2月4日 4名
- ・整備 運整準備講習 令和5年4月23日、5月26日、5月27日、5月28日 6名
- ・整備 運整実地講習 令和5年8月5日、8月6日、8月25日、8月26日、8月27日、9月9日、9月10日、9月11日 2名受講 2名合格
- ・整備 運整実地講習 令和5年8月12日、8月13日、9月2日、9月3日、9月4日、9月17日、9月18日、9月19日 2名受講 2名合格
- ・整備 運整実地講習 令和6年2月10日、2月11日、3月8日、3月9日、3月10日、3月16日、3月17日、3月18日 2名受講 2名合格
- ・整備 運整実地補習講習 令和5年8月4日、7月10日 2名受講
- ・整備 二整実地講習 令和5年5月20日、5月21日、5月22日 2名受講 2名合格
- ・整備 二整実地補習講習 令和5年5月10日 1名受講
- ・整備 動力実地講習 令和5年6月3日、6月4日、6月5日 2名受講 1名合格
- ・整備 動力実地講習 令和5年7月16日、7月17日、7月18日 2名受講 2名合格
- ・整備 動力実地講習 令和5年9月3日、9月4日、9月5日 1名受講 1名合格

付-11. 「2023 板倉 OLC マンスリーコンペ」滑空競技会 結果

年間表彰

優勝	田上研之
準優勝	山寄雅和
クラブクラス優勝	末松久幸
クラブクラス最高点賞	末松久幸
クラブ機優勝	山田倫太郎
クラブ機最高点賞	山田倫太郎
最優秀フライト賞	なし
板倉最高得点賞	田上研之
海外最高得点賞	櫻井玲子
新人層	渡邊泰啓
JSC△最長距離賞	なし
JSC△最高速度賞 (100-300K)	なし

月次表彰

	優勝	総得点賞
1月	田上研之	中村昌彦
2月	末松久幸	畠本斉
3月	田上研之	山寄雅和
4月	田上研之	吉岡利典
5月	稲垣政文	大平昌寛

6月	山寄雅和	渡邊泰啓
7月	中村昌彦	渡邊泰啓
8月	山寄雅和	末松久幸
9月	山木 宏	中村昌彦
10月	吉岡利典	稲積淳一
11月	萩原久利	舟本勝

付-12. お悔やみ

前理事長の吉田正名誉会員が9月にお亡くなりになられた。



記

令和5年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年4月1日
公益社団法人 日本グライダークラブ

公益社団法人日本グライダークラブ

板倉滑空場

〒374-0101 群馬県邑楽郡板倉町除川 1286-1

TEL : 0276-77-0830 (運航時間中は不在の場合があります)

FAX : 0276-47-3013

ピスト携帯 : 090-4541-7493 (運航時間中のみ)

ホームページ : <http://www.glider.jp/>

Blog : <http://blog.livedoor.jp/japansoaringclub/>

Twitter : <https://twitter.com/japansoaringclu>

Facebook : <https://www.facebook.com/japansoaringclub/>

Instagram : <https://www.instagram.com/japansoaringclub/>